



初等部だより 4月号

鎌倉女子大学初等部
平成30年4月6日
第1号

ご進級おめでとうございます

部長代理 勝木 茂

また新しい春が巡り、新年度がはじまりました。子どもたちの元気な声が初等部全体に心地よく響き渡っています。お子様のご進級、誠におめでとうございます。

本日、編入生8名を加えて1学期始業式を行いました。式次第にある新2年生から新6年生代表児童の「今学期の抱負」からは、新しい学年への期待や意欲を感じることができ、改めて職員一同、初等部の子どもたちのために心をひとつにしてしっかりと取り組んでいきたいと感じました。

来週9日(月)は、入学式です。1年生にとっては、とても広く感じるであろう松本講堂に、2年生～6年生まで全員が一堂にして、入学式を行い、全初等部生でお祝いします。

入学式は初等教育のスタートです。ここからの6年間、それは、いろいろな友だちや教師と出会い、様々な経験を積み重ねる中で大きく成長する6年間となります。たくましく心豊かに成長してほしいと願います。



さて、これまでの保護者会等でお知らせさせていただきましたように、本年度より3年生以上の外国語活動(英語)を週当たり2時間実施いたします。(1・2年生については、週当たり1時間)また、これまで同様、放課後に3年生以上の希望者には英語講習も実施いたします。すでに、外国語活動(英語)の新教育課程は作成済みです。英語の専任教諭2名、英語外国人講師2名も着任済みです。初等部の子どもたちにとって楽しく内容の充実した英語の授業となるよう取り組んでいき

たいと思います。

また、これまでの繰り返しとなりますが、日々の初等部の生活において一番大切にしたいことは、当たり前ですが一時間一時間の授業です。

初等部では、「5時間目の1年生」「授業の残り5分間」「どの教科にもバランスよくとり組む」をキャッチフレーズとして大切にしています。ともすると眠くなる昼食後の5時間目に1年生であっても活発に発言し、いきいきと授業にとり組んでいる姿、教師はいつでも澁淵に授業に向かっている姿、また45分間の授業の中で、最後までしっかりと取り組み、残りの5分間を大切にできる子どもたちの姿、残り5分間でその時間学習したことの定着を図れるような教師による授業展開の工夫、これらが初等部の日常となることを大切にしたいと考えています。たとえ5分間であっても5分間×1日6時間×1年間200授業日×6年間=36000分間(600時間)となり、その積み重ねは大変大きなものとなります。また、どの教科にもバランスよくとり組むことも大切だと考えています。例えば、図工の時間に得た自信は、算数の時間にも必ず生きてきます。もちろんどの子にも得意、不得意はあると思います。でも、全ての教科に前向きに取り組むことにより培われるであろう「主体的な学習態度」は、これからずっと先の人生においても必ずや役に立つと考えています。

今年度におきましても、初等部の全職員が「子どもの成長にかかわる仕事をしている」というプライドをもって、日々新鮮な気持ちで臨みたいと考えます。

これまで同様、ご理解とご協力のほどどうぞよろしく願いいたします。

建学の精神

感謝と奉仕のこころ

ぞうきんと辞書をもつこころ

人・物・時を大切にすこころ